



上/ワークデスクは、W1200×D700×H720で¥142,000。最長W3600。シェルフラックは、3段、W620×D350×H1212で¥168,000。パーティションは、W760×D500×H1212で¥97,600。中右/木口そのままを生かしている。中左/配線トレイとキャップ付き。コンセントプレートに変更可能。下/富山市の設計事務所、「dot studio」への納入例。デスクを仕切る棚は同事務所による特注デザイン。スチール部は、デスクの脚は銀鼠色、シェルフの支柱はバレイミスト色に特注塗装。
tel 076-424-3231 <http://www.kitohito.net/>

性質はそのままに、スギをソリッドに使う 木と人 (KI TO HITO)

戦後植林され、豊富な資源として活用拡大が望まれている樹齢50~60年、直径30cmほどのスギ。この皮を剥き、幅50mmほどの小割材に製材すると、無駄のない利用ができる。通常は胴縁や垂木などに使われているが、これをもっと生かすことはできないか。そんな目的のもと、富山を本拠地に住宅資材の販売や製材を行うウッドリンクと、やはり富山で家具やインテリア用品の販売、インテリアの設計施工などを行う米三が共同で設立したブランドが「木と人」である。これから需要が見込めるオフィス空間をターゲットに、2年をかけて製品開発を行い、この5月から正式にローンチする。

さまざまな試行錯誤を経た後、高周波による接着で幅接ぎを行って、長手方向に継ぎ目のない最大4mの板材がつけられること、本来のスギ材は湿度調節、空気浄化、手ざわりといった利点をもつことを重視。板材のボリューム感を前面に出して細いスチール（基本は黒色）と組み合わせ、オイル仕上げとしたワークデスク、シェルフラック、パーティションを開発した。細い材を接ぎ合わせることで、端正な雰囲気生まれた。連結と分解を前提とした構造になっており、拡張や組織替えなど変化が見込まれるオフィスにも対応する。サイズやスチールの塗装色などの特注も可能である。